

ホログラムを大型印刷

シートプリンター改良



虹色に光るホログラムを形作ることが可能
(写真は開発者の西郷氏)

3次元計測装置の開発販売などを手がける3Dragons(本社名古屋千種区田代本通、堀米秀嘉社長、電話052・735・5723)は、超薄型光学シートにレーザーを当て、印刷機のようにホログラムを作ることができるシートプリンター「THP-3001G」(仮称)の改良に取り組んでいる。形成時間を短縮した新タイプを9月末までに開発する計画。プリン

ターを使って製造するシートは、2016年3月期中に供給を開始し、来期中に量産態勢を整える。

同社は10年の設立。業務執行役員として梅崎太造名古屋工業大学教授も参画、研究室をラボとしても活用している。15年3月期の売上高は3100万円。

11年からプリンターの開発に着手し、14年5月に試作機が完成した。開発費は3千万円で、経済産業省の

「13年度中小企業・小規模事業者試作開発など補助金」を活用した。

機械の大きさは縦50センチ、横70センチ、高さ50センチ。重さ約40キロ。30センチ四方の正方形で厚さが0.3ミリ以下の有機ホリマーに由来したフィルムへホログラムを施すことができる。

14年10月に東京都内で開かれた展示商談会「CEATEC」で実機を初公開した。すでに納入実績もある。1枚あたりの印刷時間が2〜3日かかるのが課題で、短縮をめざし改良する。改良機は10月に開かれる展示会へ出展する予定。

開発者の西郷知泰氏は「当方はLED照明向けの用途を開発する」と話している。今後は印刷したシートを生かした静脈認証システムの開発も進める。

改良を加えているホログラムシートプリンター「THP-3001G」

